令和３年度　第２回軽米町総合教育会議　議事録

１　日時　令和４年１月21日（金）　午後２時00分から

２　会場　軽米町役場　２階第１会議室

３　出席者

（構成員）	山　本　賢　一	町長
	菅　波　俊　美	教育長
	関　向　玲　子	教育長職務代理者
	工　藤　健　三	教育委員
	紫　葉　　　守	教育委員
	小　林　昌　治	教育委員
（事務局）	大清水　一　敬	教育委員会事務局総括次長
	長　瀬　設　男	同　教育総務担当次長
	工　藤　祥　子	同　生涯学習担当次長
	菊　地　光　史	同　指導主事
（関係者）	川　村　憲　弘	軽米小学校校長
	及　川　　　崇	同　副校長
	高　橋　利　明	小軽米小学校校長
	鹿　糠　博　子	同　副校長
	中　村　牧　子	晴山小学校校長
	菅　原　孝　喜	同　副校長
	遠　藤　　　岳	軽米中学校校長
	五十嵐　　　智	同　副校長

４　あいさつ〈町長〉

５　協議事項

（１）令和３年度軽米町立小中学校の学力向上の取組について

（２）令和３年度軽米町立小中学校の特色ある取組について

〔設定時間　２項目合わせ各校30分〕

【主な質疑】

①軽米小学校の取組説明〔校長・副校長〕

〈事務局〉【学力向上】研究主題に基づいた取組　日常における取組

家庭と連携した取組

【特色】　　コミュニティ・スクールの取組（学校運営協議会）

以上について説明があった。

【主な質疑】

〈委員〉　　11月のＩＣＴ活用をテーマとした学校公開研究会、ご苦労様。ＩＣＴ機器を活用した授業について、児童へのアンケート結果はどうか。

→学校　　授業へ機器の活用については、概ね肯定的であったが、今後、授業実践や研修で活用の幅を広げたい。

〈委員〉　　コミュニティ・スクールに関わって、学校運営協議会の開催によって、計画の変更はあったか。

→学校　　協議会では学校の提案した運営計画を認めていただき、計画通り推進している。

〈委員〉　　国語科の弱い部分について説明をお願いする。

→学校　　授業で学んだものの活用が求められている。今後改善のためにどう取り組むか検討している。

〈町長〉　　ＩＣＴ機器の活用推進については、メリットとデメリットを十分に理解のうえ、更に授業をはじめ広く有効に活用願いたい。

②小軽米小学校の特色ある取組説明〔校長・副校長〕

〈事務局〉【学力向上】ＩＣＴ機器の活用　家庭学習

【特色】　　「こがるまいメモリアル」の取組

以上について説明があった。

【主な質疑】

〈町長〉　　各学力調査上の数値や課題はどうか。

→学校　　算数科は平均を上回っている。国語科は読む力の不足を課題ととらえ、授業改善に取り組んでいる。

〈委員〉　　５，６年生は複式学級であるが、中学校進学への準備はどうか。

→学校　　複式の良さも取り入れながら、単式での授業や指導の時間を多く設定し、中学校進学への準備対応に努めている。

〈委員〉　　ＩＣＴ活用により、学習効果を上げる研究を進めていただきたい。

→学校　　講師やＩＣＴ支援員を招いて、計画的に校内でのＩＣＴ研修会を進め、授業をはじめＩＣＴ機器活用への幅広い取組を鋭意進めている。

③晴山小学校の特色ある取組説明〔校長・副校長〕

〈事務局〉【学力向上】校内研究「予習の習慣化」の取組　学力向上支援員の活用
特別支援教育支援員の活用　ＩＣＴ機器の活用　家庭学習

【特色】　ＮＩＥ教育

以上について説明があった。

【主な質疑】

〈委員〉　学力向上に関わって、具体的な成果と課題で数字に表れているところはどうか。

→学校　昨年度の学力調査で無答が０となった。またＮＩＥ教育への取組により、新聞を読み自分の考えをまとめ、他者へ考えを伝える力、受け入れる力が伸びていると感じており、各種調査においても数値として高い結果が出ているととらえている。

〈委員〉　ＩＣＴ機器の活用について、算数科の伸びや取組を知ることができた。他教科ではどうか。

→学校　校内研で算数科を優先して活用してきたが、他教科にも活用を広げ取り組んでいる。

〈委員〉　常日頃から情操教育など様々な取組を行っていると伺っているが、高学年での将来の夢などはどうか。

→学校　地域とのかかわりのある活動を行う中で、産直のキャラクターの「さるなっしー」を発信できた経験が、町の仕事への希望や理解につながったものと考えている。

〈町長〉　学力の伸びも顕著であり、また新聞教育など全校での取組を今後も継続してほしい。

④軽米中学校の特色ある取組説明〔校長・副校長〕

〈事務局〉【学力向上】「学びフェスト」から具体的な実践について等

【特色】　「ふるさと『軽米』＜ＳＤＧｓも意識して＞

以上について説明があった。

【主な質疑】

〈町長〉　統合のメリットを生かして文武両道で小中高連携して取り組む体制が必要と考える。スポーツ等は地区内で競っているが、学力についてはどうとらえているか。

→学校　課題の教科もあることから、学力の課題は小学校と中学校の共有のものとして今後も対応を考えたい。

〈委員〉　アンケートにおける「わかる授業を目指しているか」の数値は教科ごとか。

→学校　全科まとめてである。

〈委員〉　小学校では児童のＩＣＴスキルは上がっているが、中学校での準備はどうか。

→学校　ＩＣＴ活用については、軽米小学校の学校公開でも学んだが、教員のスキルアップが不可欠ととらえ、計画的な校内研修を進めている。

〈委員〉　コロナ禍での生徒の様子についてはどうか。

→学校　新しい生活様式の中で多少のストレスもあることから、全職員で心のケアにあたっている。又、生徒へは会話を多くするように心がけ、命の大切さを伝えている。学校行事等は、多くの制約はあるが内容など創意工夫をこらし実施したことで、生徒の満足感も得られていると感じている。

○閉　会